

第30回 入学式 式辞

新入生の皆さん、日根野高校へようこそ。

私たち教職員・在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎し、祝福いたします。

本校自慢の桜も満開の時期こそ過ぎましたが、まさに春爛漫のこの佳き日、後援会・PTA はじめ、多くのご来賓の皆さまのご臨席を賜り、大阪府立日根野高等学校第30回入学式を挙行できますことは、大変心強く喜ばしいことであり感謝に堪えません。高い処からではございますが、心より厚く御礼申し上げます。

30期生の皆さん、15歳の大きな挑戦を乗り越え、またひとつ成長されましたね。皆さんは、自らの意思で日根野高校を志望し、自らの力で見事合格されました。その決断力と努力に対し、今一度おめでとう、そして、よくがんばりました、とお祝いを申し上げたいと思います。

さて、これからの高校生活にあたり、私から皆さんに最初のメッセージをお贈りしたいと思います。

「高校生活を楽しくやっぺいこう」

これが、私から皆さんへの最初のメッセージです。びっくりするほどシンプルなメッセージですが、楽しい高校生活にするにはどうすればいいのでしょうか。

皆さんは大変な受験を頑張りぬいて日根野高校に入ってきてくれたばかりですから、季節も素晴らしいし、とにかくしばらくはあまり難しく考えず、新しい環境・新しい生活をのびのびと楽しもう。多くの人は、そう思っているのではないのでしょうか。勿論、それでいいと思うのですが、いつまでもそのまま楽しいというわけでもないと思います。多分、緊張の後のリラックスの時間が終われば、新しい目標が必要だと思うようになるはず。そこが最初のポイントです。高校生活を楽しくするために、その1「部活に入ろう。」これから高校で勉強を始めることになり、それは勿論大切なことなのですが、それだけで埋め尽くせるほど高校生活は薄っぺらなものではありません。自分の居場所をしっかりと定め、人と人の繋がりや絆を学ぶために部活ほど君たちの成長を助けてくれるものはないかもしれません。日根野高校に限らず多くの高校では、部活を頑張った生徒と希望進路を実現できた生徒が一致する場合が多く、これは毎年のことですので、単なる偶然ではありません。だから「部活に入ろう。」その2「自習室で勉強を始めよう。」卒業する時、皆さんの先輩のほとんどが同じことを言います。「もっと早くから勉強しとくんだった。」そこはみんな同じように後悔して卒業していきます。まったく勉強しなかったというわけではないのですが、もっとできていたという後悔なのだと思います。この学校にはいろんなところに自習が出来る場所があります。家や塾で勉強するのもいいですが、学校で先生のそばで友達といっしょに勉強のもいいと思います。だから、まず「自習室で勉強を始めよう。」その3「学校行事に本気を出そう。」体育祭・文化祭・遠足・修学旅行・クラスマッチ等々、学校行事はたくさんありますが、なんとなく誰かに引っ張られてやるのでは面白くありません。やる限りは本気やで、の精神で取り組んでくれたら、きっとまたひとつ違う自分に会えることでしょう。だから「学校行事に本気を出そう。」

まとめておきますと、部活や学校行事に一所懸命に取り組む。そして、1年生のうちから毎日2時間の勉強を欠かさない。これでいいわけです。勉強というのは教科の授業だけを言うのではなく、部活も学校行事も先生との何気ない会話も含めて全てが勉強であることを理解しておいてほしいと思います。そして、もうひとつ高校生活を楽しくする秘訣を言っておきますと、今言いましたことを3年間追いかけるのではなく、追いかけていくために「遅刻をしない。決めた時間を守る。」これが大事なことだと思います。やればできることだから、みんなでやりましょう。

さて、保護者の皆さま、改めましてお子様のご入学、誠におめでとうございます。今日まで限りない愛情を持って育ててこられ、時にはご心配やご苦労があったことと存じます。私たちは、そのお心にお応えすべく、若者達に夢とそれに挑戦する勇気とそれを支えてくれる人々への感謝の心を伝えていきたいと思っております。そして、お子様の高校生活が健康で光り輝くものとなるよう、教職員一同、全力を傾け邁進する覚悟でございます。これからの3年間、厳しいこと、つらいこともあるかと思います。しかしそのような時こそ、皆様方の温かいお心が何よりも生徒たちへの励ましになると思います。お子様ひとり一人が心身とも豊かに成長していくために、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さあ、新入生の皆さん、皆さんの周りをもう一度よく見てください。君たちの門出を心からお祝いしたくて、たくさんの方が集まってくれました。この人たちは皆さんの大応援団です。皆さんの成長と幸せを本当に願っている人たちです。ですから、安心して思い切りいろんなことに挑戦してください。少々失敗しても大丈夫です。失敗しない人なんて世の中にはいません。逆に、失敗した経験を積み重ねれば積むほど、一步步夢の実現に近づいているんだ、失敗の数は勲章の数だ。是非そう考えてください。

最後になります。日根野高等学校30期生全員が、この学校でたくさんの友と出会い、新しい経験を積上げ、そして、高い志をもって夢に挑戦する。そんな高校生活を送られることを祈念して、学校長の式辞いたします。

平成28年4月8日

大阪府立日根野高等学校長
岸野圭吾